



「新型コロナウイルス感染症とSDGs」 討論者報告
(令和3年5月26日)

SDGsカルテル

九州大学法学研究院
准教授 平山賢太郎



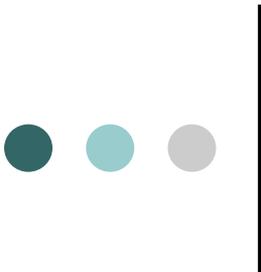
平山 賢太郎

九州大学 法学研究院 准教授・弁護士

- 独占禁止法（競争法）分野
 - Key word - 「公正な競争」
- 公正取引委員会 競争政策研究センター客員研究員
- 経済産業省 標準必須特許のライセンスを巡る取引環境の在り方に関する研究会 委員
- 産学官連携シンポジウム（6月23日）

「スタートアップにとっての独占禁止法」 ⇒





SDGsのための企業間協力

- エネルギー転換のための企業間協力
 - 排ガス低減技術の共同研究開発
 - 排ガス低減技術の“標準”策定
 - 排ガス低減目標設定に関する国への陳情
- Covid-19対応のための企業間協力
 - 医薬品原材料の共同調達
 - 医薬品の共同研究開発
 - 医薬品の共同運送

見せかけのSDGs

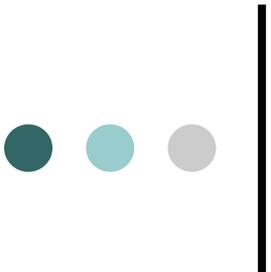
- 企業間の話し合いによる
 - 排ガス低減技術を「開発しない」協定
 - 排ガス低減商品の「価格引上げ」協定
 - 排ガス低減認証制度の「解釈」申し合わせ
 - 排ガス低減の「目標緩和」のための陳情
- Covid-19の危機下における
 - 「緊急性」ゆえ特別に認められる企業間協調
 - 緊急に実施した企業間協調の「恒久化」
- 企業間協調によって実現される **SDGs**
 - ⇔ 企業間協調による **Greenwash**

見せかけのSDGs

- 「あしたのトリ」事件（オランダ・2015年） - 競争法違反を認定
 - 鶏の生産業者・小売業者の「Chicken of Tomorrow」合意
 - スーパーで販売される鶏を、よりよい環境で生育された鶏へと完全に置き換えるという合意
 - 鶏舎の消灯時間増加（連続6時間）
 - 抗生物質使用量の抑制 など
 - SDGs ...?
 - 消費者は、鶏肉の購入について選択の自由を奪われた
 - 消費者は、動物福祉・環境に価値を感じていなかった
 - 消費者は追加費用の転嫁を受ける（1キログラムあたり1.46€）
 - みせかけのSDGs
 - 抗生物質使用量の抑制は、「Chicken of Tomorrow」がなくても、いずれにせよ達成される見通しだった
 - 外国産鶏肉は、もはやオランダのスーパーでは販売できなくなる - 単なる輸入鶏肉排除カルテルではないか

消費者の“支払いたい”額

- SDGsにはお金がかかる場合がある
 - 企業は、SDGs対応費用を（おそらく）消費者へ転嫁する
 - 消費者は、追加負担を覚悟しているとは限らない
- 消費者の追加負担額と支払意思額（willingness to pay）との間に、差が生じる
 - 消費者への転嫁は常に「不公正な競争」なのか
 - 競争法の観点からのSDGs推進
 - 社会公共的取組みの積極的な評価
 - 国家補助（補助金）
 - 支払意思額を引き上げることはできないか



御清聴ありがとうございました。